

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
TC+BEV(卵巣癌)	21日間	中等度催吐性リスク

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ジフェンヒドラミン	50mg(5錠)	パクリタキセル投与開始 30分前までに内服	●																				
デキサメタゾン	8mg(16錠)	2×朝・昼		●	●	○*	※○嘔気によって4日目まで内服も可																

滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	ソリューゲンF	500mL	メイン	2時間	●																				
2	グラニセトロン3mg ファモチジン デキサメタゾン	1バッグ 20mg 16.5mg	メイン	30分	●																				
3	パクリタキセル 生理食塩液	175mg/m <sup>2</sup> 500mL	メイン*1	3時間	●																				
4	カルボプラチン 生理食塩液	AUC 5 500mL	メイン	2時間	●																				
5	ベバシズマブ*3 生理食塩液	15mg/kg 100mL	メイン	1時間30分*2	●																				
6	ソリタT3	200mL	メイン	1時間	●																				

\*1: パクリタキセル使用するためフィルター付専用ルートを使用すること

\*2: ベバシズマブ初回90分で問題なければその後60分。それでも問題なければ30分まで短縮可能

\*3: 基本1コース目はベバシズマブを使用せず通常のTC療法のみを行う。ベバシズマブは2コース目から追加。

★TC療法6コース後PDでない場合は、ベバシズマブ単剤による維持療法へ移行しなければならない。  
ベバシズマブを継続投与しなかった場合の有効性は示されていない。